

Topics

特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の
避難指示解除について
P1-6



Contents

- P7 / 町内で採れた旬! な自家消費食材
- P8 / 富岡町立富岡小学校にて
放射線教育を実施しました
- P9-10 / とみっぴーと学ぼう! とみおか放射線クイズ
- P11 / お知らせ

Cover photo / 避難指示解除に向けた
現地調査の様子 (2023年9月撮影)

令和5年11月30日に避難指示が解除された特定復興再生拠点区域(点・線拠点)解除前に行われた除染検証委員会の現地調査で、除染状況等を確認しました。今号の特集記事では今回の現地調査を含めて検証した結果を紹介しています。



特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の 避難指示解除について

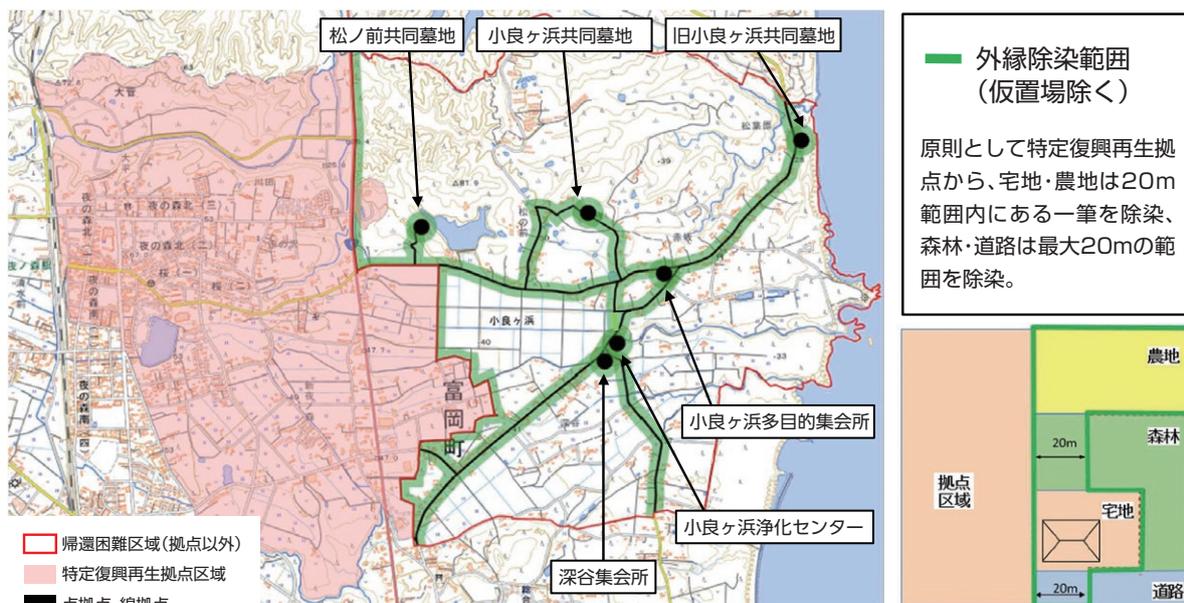
富岡町における特定復興再生拠点区域のうち、避難指示が解除されていなかった点・線拠点(墓地や集会所等、及びそこに繋がる道路)について、令和5年11月30日に避難指示が解除されました。

避難指示を解除するにあたり、令和5年9月28日に開催された「第26回富岡町除染検証委員会」*において報告された環境省による除染状況等について、現地調査も含め検証した結果を報告いたします。(生活環境課)

01

避難指示が解除された 特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の範囲について

避難指示が解除された特定復興再生拠点区域(点・線拠点)は下図の通りです。



第26回除染検証委員会 特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の空間線量の状況について(資料2-1)を参照し作成

点・線拠点の避難指示の解除は、道路外縁の住宅や、宅地の避難指示を解除するわけではなく、お墓参りなどを目的としています。



(※)除染検証委員会

富岡町では、町内で環境省が実施した除染事業について、専門的見地から除染結果の分析・検証を行うため、有識者で構成される「除染検証委員会」を設置しています。

(5、6ページで令和5年10月13日に提出された報告の内容を掲載しています。)

02 歩行モニタリングについて

■富岡町が行った歩行モニタリングの結果(令和5年9月測定)



線拠点の空間線量率

最大値	2.45 $\mu\text{Sv/h}$
最小値	0.18 $\mu\text{Sv/h}$
平均値	0.87 $\mu\text{Sv/h}$

放射線量(色別)凡例

● 0以上0.2未満	● 2.0以上3.0未満
● 0.2以上0.5未満	● 3.0以上5.0未満
● 0.5以上1.0未満	● 5.0以上10.0未満

(単位はマイクロシーベルト/時)

富岡町では特定復興再生拠点区域(線拠点)に設定されている道路の歩行モニタリングを独自に行っており、令和5年9月に行われた歩行モニタリングの結果では、マップ上でピンクや黄色になっているところの線量が少し高くなっています。

特に①や②の箇所は山林からの影響が強いと考えられ、道路周辺山林の追加除染を実施しました。

03 点拠点の空間線量率について

特定復興再生拠点区域(点拠点)に設定されている墓地や集会所等の空間線量率の状況を紹介します。

放射線量(色別)凡例	
● 0以上0.23未満	● 1.0以上1.9未満
● 0.23以上0.5未満	● 1.9以上3.8未満
● 0.5以上0.75未満	● 3.8以上5.7未満
● 0.75以上1.0未満	● 5.7以上9.5未満
	● 9.5以上

(単位はマイクロシーベルト/時)

松ノ前共同墓地



除染後 (測定日:令和5年12月5日)

●最大:1.34 μ Sv/h ●最小:0.90 μ Sv/h ●平均:1.02 μ Sv/h

旧小良ヶ浜共同墓地



除染後 (測定日:令和5年12月5日)

●最大:1.52 μ Sv/h ●最小:1.23 μ Sv/h ●平均:1.43 μ Sv/h

小良ヶ浜共同墓地



除染後 (測定日:令和5年12月5日)

●最大:1.46 μ Sv/h ●最小:0.60 μ Sv/h ●平均:1.06 μ Sv/h

小良ヶ浜浄化センター



令和5年7月10日の測定結果

●最大:0.40 μ Sv/h ●最小:0.22 μ Sv/h ●平均:0.29 μ Sv/h

除染検証委員会を開催した令和5年9月28日時点では、既に共同墓地3ヶ所の敷地内除染は完了しているが、山林に隣接する部分に一部線量が高い箇所が見られることから、周辺山林の追加除染を実施しています。

除染検証委員会後の令和5年12月5日の測定では、フォローアップ除染により人が立ち入る所の線量低減が見られます。さらなる線量低減を図るべく、引き続きフォローアップ除染を実施しています。

小良ヶ浜行政区集会所



深谷行政区集会所



小良ヶ浜多目的集会所と深谷集会所は敷地の除染が完了しており、どちらも除染前と比べ放射線量の平均値が半分以下となりました。

04 新しい制度「特定帰還居住区域」について

福島復興再生特別措置法の一部改正により、新たに創設された「特定帰還居住区域」について紹介します。

■改正法の概要について

市町村長が拠点区域外において、避難指示解除による住民の帰還及び当該住民の帰還後の生活の再建を目指す「特定帰還居住区域」を設定できる制度を創設しました。

特定帰還居住区域とは、帰還困難区域のうち、帰還意向のある方の日常生活に必要な箇所を整備していく区域のことで、環境省の方針では、「特定帰還居住区域」の認定を受けた区域について、点・線拠点で除染した箇所とその周辺の除染を行う方針が示されています。

以下の順番で除染の計画を実施していきます。

- ①市町村長が計画書を作成……日常生活に必要な宅地、道路、集会所、墓地等を含む範囲で設定
- ②内閣総理大臣が認定
- ③計画に基づき整備実施……(1)除染等の実施(国費負担) (2)道路等のインフラ整備の代行

参照: 福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律 (https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/05_20230609_gaiyou.pdf)
富岡町除染検証委員会(26回)議事録より要約

令和5年10月13日に富岡町除染検証委員会から「特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の避難指示解除に関する検証結果の報告」が町長に提出されました。

その報告の内容を紹介します。



特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の避難指示解除 に関する検証結果の報告

富岡町における特定復興再生拠点区域のうち、夜の森地区を中心とする面拠点につきましては、本委員会において除染による空間線量率の低減の検証を行い、検証結果を町に報告し、本年4月には避難指示が解除されているところであります。

この度、特定復興再生拠点区域のうち避難指示が解除されていなかった点・線拠点について、令和5年9月28日に開催された「第26回富岡町除染検証委員会」において環境省及び富岡町から報告を受けた除染状況等について、現地調査も含め検証した結果を下記のとおり報告いたします。

記

○線拠点の除染について

除染については一部の路線を除いて概ね完了しており、残された路線についても本年11月末までには除染が完了する予定である。

除染が完了した路線については、町の歩行モニタリング結果より、地上1mの空間線量率が十分低減していることを確認した。

○点拠点の除染について

点拠点として指定された以下の墓地等について、除染結果を確認した。

1. 松ノ前共同墓地・小良ヶ浜共同墓地・旧小良ヶ浜共同墓地

墓地敷地の除染は完了しているが、森林に隣接する側において一部線量が高い箇所が見られることから、外縁部山林の更なる除染が必要であるため、11月末までにフォローアップ除染による更なる線量の低減を目指すことを確認した。

2. 小良ヶ浜多目的集会所・深谷集会所・小良ヶ浜浄化センター

小良ヶ浜多目的集会所及び深谷集会所については、解体予定の建物を除いた敷地の除染が完了し、十分な線量低減が確認された。小良ヶ浜浄化センターについては、敷地及び建物の除染が完了しており、十分な線量の低減が確認された。

これまでの富岡町除染検証委員会開催時の資料を 「とみおか放射線情報まとめサイト」で公開しています。

特定復興再生拠点区域(点・線拠点)の避難指示解除に関する検証結果の報告や、P1～4で紹介した避難指示解除についての除染検証委員会の資料は「とみおか放射線情報まとめサイト」に公開しています。



町内の除染に関する情報 <https://tomioka-radiation.jp/josen.html>

■検証の結果について

点・線拠点の除染については、概ね完了しており、十分な線量の低減が確認できた。また、除染中の箇所についても、11月末までに除染が完了するよう、計画的に実施されていることを確認した。

一部空間線量率が高い箇所の環境省によるフォローアップ除染については、線量が高くなっている原因を調査のうえ、線量が確実に低減するまで継続して実施することを確認した。

以上の結果、今回除染の状況等を検証した特定復興再生拠点区域(点・線拠点)については、避難指示解除後に早期に居住を伴うものではないことを鑑み、以下の継続的な対策を実施していくことを条件に、今後の利活用に向けた回復は概ね為されているものと判断できる。

○未除染地の継続的な除染

点・線拠点のうち外縁が未除染である箇所において、外縁からの放射線の影響を受けているケースが確認されている。未除染地については、土地所有者の意向、相続等の問題があるが、今後も継続的にコミュニケーションをとり、外縁全体の除染を目指すこと。加えて、放射線防護の観点から、空間線量率の更なる低減のみならず必要に応じ狭い範囲での立ち入りを制限する検討や、生活動線についての住民相談等、適切な対応を実施すること。

○事後モニタリング及びフォローアップ除染の確実な実施

除染が完了した箇所についても事後モニタリング結果を注視し、周囲と比べて線量が高い箇所、生活圏に隣接する箇所等については可能な範囲でフォローアップ除染を継続して実施し、点・線拠点の更なる空間線量率の合理的な低減に努めること。また、異常気象による土壌流出等で空間線量が上昇する可能性が懸念されるため、適宜モニタリングを実施し、適切な対応を実施すること。

以上

令和5年10月13日

富岡町除染検証委員会 委員長 河津賢澄

町内で採れた旬! 自家消費な食材



令和5年11月から令和6年1月
放射性セシウム濃度結果

■野菜・いも類 計16種28検体

きくいも 1 検体	きゅうり 1 検体
ごぼう 1 検体	さつまいも 3 検体
さといも 3 検体	しゅんぎく 2 検体
しょうが 1 検体	だいこん 3 検体
チンゲンサイ 2 検体	はやとりのり 2 検体
山いも 3 検体	小松菜 1 検体
長ねぎ 2 検体	にんじん 1 検体
はくさい 1 検体	玉ねぎ 1 検体

■果物・種実類 計8種19検体

お茶の実 1 検体	かぼす 1 検体	かりん 2 検体
キウイ 4 検体	くるみ 1 検体	ざくろ 2 検体
みかん 7 検体	椿の実 1 検体	

■山菜・きのこ類 計1種1検体

ヒラタケ 1 検体

■魚介類・肉・加工品・豆・穀物・その他 計9種12検体

あいなめ 1 検体	ひらめ 1 検体	干し柿 3 検体
菊(食用) 2 検体	落花生 1 検体	味噌 1 検体
大豆 1 検体	干しいも 1 検体	キジ 1 検体

上記は全てスクリーニングレベル未満でした。

スクリーニングレベル超過

野菜類
かぼちゃ
【総数】2 検体
【超過】1 検体
【測定結果】ND~73.3(新夜ノ森)

種実類
ぎんなん
【総数】1 検体
【超過】1 検体
【測定結果】53.4(高津戸)

果物類
ゆず
【総数】19 検体
【超過】2 検体
【測定結果】ND~124.8(王塚)

果物類
柿
【総数】5 検体
【超過】1 検体
【測定結果】ND~154.2(王塚)

※測定器:非破壊式放射能測定器(そのままはかるNDA)

※スクリーニングレベル(50Bq/kg):国が定めた検査において、一般食品の基準値(100Bq/kg)を確実に下回ると判定するための値(可否の判定)です。

※ND(不検出):測定結果が「ND」となっている場合は、測定値が検出限界値未満であったことを示しています。

※上記の結果は、富岡町食品検査所に持ち込まれ測定した結果であり、全てに当てはまるものではありません。

富岡町立富岡小学校にて 放射線教育を実施しました

令和5年10月18日(水)、富岡小学校にて全学年を対象とした放射線教育を行いました。講師は長崎大学の折田真紀子先生にご担当いただき、各学年、児童の発達段階に合わせたプログラムで実施しました。

1・2年生



1・2年生の授業では、紙芝居の読み聞かせや霧箱の観察、身の回りのものの放射線量を測定する測定器の実演を行い、児童の皆さんに放射線に対する興味・関心を持ってもらいました。授業のまとめ放射線クイズでは大変盛り上がり、「放射線は紙を通り抜けるか」、「アメリカにも放射線はあるか」等、様々な質問が出ました。

3・4年生の授業では、昨年度の復習を兼ねた放射線に関する講義を行いました。講義後の測定実習では、測定器を使用して身近なものの放射線量を測定し、様々なものに放射線が含まれていることを確認しました。”測定するものの中で放射線量が最も多いものはどれか”事前に予想を立てることで、結果に興味を持ち、楽しみながら取り組む様子が見られました。



3・4年生

5・6年生



5・6年生の授業では、福島県内で行われている除染の取り組み等について紙芝居を通して学び、その後、福島県の風評被害に関するテーマをもとにグループワークを行いました。「放射線について不安に感じていたが、福島の食べ物や水はしっかりと検査されていることを知り、安心して暮らせると思った。」等の感想が聞かれました。

環境省事業

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター



0120-478-100

(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)



F-sodan@nsra.or.jp

【住所】〒970-8026 福島県いわき市平字小太郎町1-6 いわきセンタービル5階

HPIはこちら↓



暮らしにつながる
放射線リスクコミュニケーションセンター



とみっぴーと学ぼう! とみおか 放射線クイズ

こんにちは!
とみっぴーだっぴ!
今回は、滝沢隊員と
一緒にこたえていっぴよ!
クイズ、がんばるっぴ!



では早速、僕が出題していきます!

とみっぴー! 一緒にがんばるぞ!

まかせるっぴ!

斉藤隊員 ▶ ◀ 滝沢隊員

では第一問です
○か×で
答えてね!

第1問
放射能の量を表す単位を
「シーベルト (Sv)」という

バツ×
だっぴ! だな!

これはっ!
...っ!

お、ふたりとも
正解です◎

やったっぴ!

さすが
です!

シーベルトは人が受ける被ばく線量の単位のことだな!
放射線を受ける側、すなわち人体に対して用いられるぞ
数値が大きいくほど、人体が受ける放射線の影響が大きいことを意味するらしい!

● **放射性物質** = 放射線を出す能力 (**放射能**) を持つ



ベクレル (Bq)
▶ 放射能の単位

シーベルト
▶ 人が受ける放射線被ばく線量の単位

出典:環境省HP
<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/h30kisoshiryo/h30kiso-01-01.html>を加工して作成

放射能の量を表す単位は「ベクレル(Bq)」といいます
ベクレルは放射能の単位で、放射線を出す側に着目したものです
詳しくは、環境省HPでご確認いただけます!



▲環境省HP:
ベクレルと
シーベルト



ここからは、
富岡町役場に関する問題です

第2問

富岡町役場では、車や歩行による放射線測定を行っており、身近な空間放射線量率を知ることができる

これはどっちだっぴ?

これはまるだ!



そうなんだっぴ!?



▲車での測定

とみおか放射線情報まとめサイト内の「町の空間線量調査」で、測定結果を見ることが出来ます町内の主要な道路や歩道で測定しているので、自分の身近な場所の空間放射線量率を確認してみてください!



キーン!



◀歩行での測定

◀とみおか放射線情報まとめサイト「町の空間線量調査」
<https://tomioka-radiation.jp/air-dose.html>

第3問!
最終問題です!

なんでも
こいっぴ!



第3問

富岡町役場には国が行った除染事業について、専門家が分析や検証を行う委員会がある

うーん...
○? ×?
わからん...

これはまるだっぴ!

とみおか放射線情報まとめサイト内にある「町内の除染に関する情報」で会議の内容や報告書をみれるっぴ!



ぼー...

正解です!
富岡町除染検証委員会と言いますP1-6で「第26回富岡町除染検証委員会」で報告された検証結果を紹介していますので、そちらもご覧ください!



◀とみおか放射線情報まとめサイト「町内の除染に関する情報」
<https://tomioka-radiation.jp/josen.html>

「とみおか放射線情報まとめサイト」には放射線に関するクイズがたくさんあるよ!
みんなで解いてみよう!



「とみっぴーと学ぼう!とみおか放射線クイズ」
<https://tomioka-radiation.jp/quiz.html>

とみおか放射線情報まとめ





お知らせ



富岡町では震災当時、町内に居住していた方を対象に、内部被ばく検査(ホールボディ・カウンタ)および甲状腺検査を希望される方へ、県内の医療機関において実施していましたが、令和5年度をもちまして終了いたします。なお、県では内部被ばく検査および甲状腺検査については下記の通り継続実施しています。



◆福島県で実施している内部被ばく検査および甲状腺検査について

内部被ばく検査(車載型ホールボディ・カウンタ)			
福島市	福島市保健福祉センター	毎週土曜日	要予約 10時00分～15時30分 (最終受付15時00分) (11時30分～12時30分を除く) ※検査日前週金曜日まで申込
郡山市	郡山市保健所正面入口	毎週金曜日	
檜葉町	あおぞらこども園駐車場	毎週火曜日	
浪江町	浪江町役場駐車場	毎週月曜日	
ホールボディ・カウンタ受付専用ダイヤル 080-5744-0334 9時～17時(土日祝日・年末年始を除く)			

甲状腺検査	
医療機関	福島県ホームページ「県民健康調査について(甲状腺検査について)」をご覧ください。
対象者	震災時、福島県にお住まいの概ね18歳以下(平成4年4月2日～平成23年4月1日生まれの方) 平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれの方
備考	20歳を超えるまでは2年ごと、それ以降は25歳、30歳等の5年ごとに検査を実施する。 (25歳時の検査まで5年以上空けない。)

◆甲状腺における放射線専門家による知見

- 子ども** … 放射線に対する感受性が高いので影響を受けやすい。
子どもは大人に比べ放射線被ばくによる発がんリスクが2～3倍高い。
- 大人** … 等価線量*による影響を受けにくい。

※等価線量：人の臓器や組織が個々に受ける影響を、放射線の種類によって重み付けしたもの

◆環境省による内部被ばく検査(車載型ホールボディ・カウンタ)

開催	車載型ホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査は令和6年度4月より毎月1回、双葉町、大熊町、富岡町のいずれかの場所で開催を予定しています。また、イベントなどに合わせた開催も予定しています。
開催場所	富岡町で開催する場合は「富岡町文化交流センター学びの森南側駐車場」で実施いたします。
開催情報	富岡町ホームページ内の「とみおか放射線情報まとめサイト」をご覧ください。

